

べつ 議会だより つかい

第 76 号
2016
2.1



伝統的な下の句かるたに
真剣に取り組む子ども達

特集

議会報告会 開催される 2

第4回定例会 7

平成26年度決算を認定する
消防車購入事業など補正予算を可決

町政のここが聞きたい 10

傍聴者インタビュー（永野さん・鈴木さん・村山さん）
一般質問（大内・森本・中村・外山・木嶋・小椋・瀧川の7議員）

シリーズ まちの宝物 野付竜神倶楽部
尾岱沼 下の句かるた少年団 富崎吉勝さん... 20



～広聴により 協働のまちづくりを推進～

情報の共有と町民参加を図り、議会や町政に対する町民の意見や提言を広く聴く場として、議会報告会が開催されています。
6回目となる本年度は、町内4力所で開催され、町民の参加者は全体で39名（前は58名）でした。
各会場で出された質問と回答を項目別に要約して掲載します。

別海高校の生徒減少対策は

質問
生徒数が減少している問題で、どのような対策をとっているのか。

回答
教育委員会として生徒や保護者へのアンケート※を実施しました。寮の設置など、今後も魅力ある学校づくりを議会として教育委員会に要請します。

質問
寮建設費用の負担は、道・町のどちらがするのか。

質問
高校周辺に一般住宅の空き部屋がある。安価で下宿として利用可能では。

回答
教育委員会にご提案の内容を伝えます。

マイナンバー制度の利便性やセキュリティは

質問
個人としてマイナンバーカードを持つことは、どのような利便性があるのか。

回答
マイナンバーカード1枚を持つことで、法的な身分証明となりま

質問
別海町ではセキュリティの対策をどのようにしていくのか。十分に気を付けてほしい。

回答
現在の段階では、適切なセキュリティの対策をしていくという概要が報告されているところです。

市街地の活性化対策は

質問
町の中核となり、集客力のある複合施設が、地域の活性化につながるのではないか。

回答
「まちづくり構想」に関してさまざまな取り組みが始まっています。議会としても、住民の活動と連携を取りながら注視したいと思

質問
防音住宅対象エリア拡大を要請しているが

防衛関連の防音住宅対象拡大を

会場別参加者数 (単位：人)

	男性	女性	計
尾岱沼	13	0	13
別海	10	2	12
上風連	3	0	3
西春別	11	0	11
合計	37	2	39

質問
防音住宅対象エリア拡大を要請しているが

回答
防音対策のエリア拡大は町から国に對し常に要請しています。議会として、今後も要請を続けるよう町に働きかけます。

※別海高等学校に関するアンケート
○平成27年7月8日から7月24日まで実施
○対象者数および回答数
・中学生478名 (回答数381名)
・保護者(中学) (回答数231名)
・高校生269名 (回答数30名)
・保護者(高校) (回答数96名)

平成27年度

ぎ かい ほう こく かい かい さい
議会報告会を開催

11月9日 4会場（尾岱沼・西春別・別海・上風連）



高潮が押し寄せる尾岱沼漁港（昨年10月8日）

高潮被害など
災害への対応は

質問

野付半島や尾岱沼の高潮被害はひどい状況にある。

もう少し調査をし、道に要請するなどしてほしい。

回答

被害状況を確認したあと、町も根室振興局に強く要請し、部分的に漁業施設を直したところもあります。

議会として町に対し、国や道にも要請を継続するよう働きかけたいと考えています。

質問

平成18年の高潮被害のあと、海岸線は改善されていない状況がある。

海岸地域住民が安全に生活できることを考えてくれているのか。

回答

議会として、海岸や施設を回り調査を行っており、町も現場を確認しています。

漁業者が番屋を閉鎖し、高台に移転するという実態もあります。皆さんのご意見をまとめ、議会として町への報告と要請をしています。必要があると考えています。

質問

災害後は、すぐに現地を視察するようにお願いしたい。

一緒に確認することで、話が早く進むのではないかと。

回答

行政側と今以上に速やかに調査できる仕組みを作っていきたいと考えています。

野付半島避難
施設の詳細は

質問

野付半島の避難施設は長年要望してきたものであった。工事が進んでいるが内容は。

回答

津波の高さを3・3mと想定し、施設床面の高さは倍の6・6mとなっています。

災害時は鍵ボックスのプラスチックを割り、鍵を取り出して開錠し、施設に入ることができず。

完成は平成28年2月25日です。

尾岱沼消防署への
救急車配備は

質問

尾岱沼の消防署が改築され、車庫もできた。あとは救急車だが、配備の見直しはどのようになっているか。

回答

救急車配備には、消防署員の増員が必要で、検討している段階です。

テレワーク
実証実験の状況は

質問

テレワーク実証実験は平成28年3月までとなっているが、その後はどうなるのか。

議会でも10月に視察しているが、どんな状況か。

回答

8月から9月にはテレワーカーと家族の計48名が実証実験を行う

ています。(現時点で55名、延べ350日間) また9月には青山学院大学の教授と学生の計6名が参加しました。平成28年3月以降については、町としてマイクrosoft社に継続するよう要請し、議会としても長期にわたり展開していくよう、町に働きかけています。

生涯学習センターの計画は

質問

中央公民館は老朽化が進み、雨漏りもある。建て替えについてはどのような検討がされているか。また、基金の積み立てはあるのか。

回答

- ・平成27年度基本構想
- ・28年度基本計画
- ・29年度実施計画
- ・30年度以降に設計、建設予定

となっています。基金の現在残高は4億2800万円です。

米海兵隊移転訓練

質問

公開訓練への議員参加の対応はどのようになっているか。

回答

議員全員に案内が届くことから、各自の判断で参加しています。

東部地区にも高齢者施設が必要では

質問

尾岱沼地区も高齢化率が25%となった。東部地区には高齢者福祉施設がなく、デイサービスも40分から1時間かけて通っている。

回答

この地区にもデイサービスセンターなど、高齢者の福祉施設が必要と考えるが。

回答

貴重な意見をしっかりと行政に伝えて、実現に向けた対応をしていきます。

除雪および大雪対策は

質問

別海川上町と別海緑町を除雪車1台で対応している。除雪の順番を交互にできないか。

回答

質問

昨年の大雪の影響で公営住宅の積もった雪が屋根まで届き大変だった。一度でもいいから降雪を行ってほしい。

回答

大雪への対策について、しっかりと取り組むよう行政に伝えます。

質問

西部市街地は近年の

大雪で除雪が追い付かず通勤通学に大変困っている。効率よく除雪するための連絡体制の強化や、ロータリー除雪車を西部地域に配備してほしい。

回答

委員会でも議論しており、行政も改善に向け検討を行っています。

道路の維持管理は

質問

町内道路の段差や穴は早急な補修体制が必要ではないか。

回答

道路補修については優先順位をつけて整理しながら対応する必要があります。行政に伝え対応していきます。

別海バイオガス発電への出資金など

質問

別海バイオガス発電株式会社に対し町は何%出資しているのか。

回答

町と道東あさひ農協、中春別農協の3者で30%です(町15%、中春別農協11・4%、道東あさひ農協3・6%)。

質問

当初12億2千万円の借入金で14億円に増えている。追加分は議会にかからないのか。

回答

(別海バイオガス発電株式会社)の借入金であり、直接町には関係がありません。



畜産環境の課題解決に期待が寄せられるバイオガス発電施設 (別海バイオガス発電(株)ホームページより)

環境条例に対して

質問

町の畜産環境条例に反対する。

条例の中で面積当たりの頭数制限（1ha当たり2・5頭）を行っている。

別海町の酪農を発展させるのに縛りを作つてはならない。

また頭数制限の数字もあいまいで根拠のない数字を使うべきではないと思う。

回答

条例制定の背景には河川への堆肥の流出事故があったと考えられます。

事故は故意ではないし、ほとんどの農家は適切に処理しています。

条例の運用については酪農のためになるように留意したいと思いません。

頭数制限は、土地に還元する堆肥量として

2・13頭というオランダの土壌研究の成果を根拠にしています。

これはバイオガスや畑作に転用することで制限を外すことができます。

無尽蔵に土地を増や

せない現状では規模の拡大にも工夫が必要となります。

議会報告会の開催

質問

議会報告会は継続し



熱心なやりとりが行われた議会報告会（別海会場）

て実施してほしい。

ただの報告会ではなく、要望を聴くなど地域の声を吸い上げ、町のために役立つ活動につなげてほしい。

また、広く周知するために早めに連絡してほしい。

回答

ご意見を参考に来年度に生かしていきます。

TPPへの対応は

質問

地方議会が先頭になり、国会議員に説明責任を果たしてもらうべきである。

回答

反対するだけでなく農業などをいかに守るか、対策を考える方向が変わってきています。次のアクションをどう起こすか協議をしていきます。

会場アンケートからの意見

ご参加くださいました皆様から、発言以外にも貴重なご意見を賜りましたので、紹介させていただきます。

●もつと多くの方に参加してもらえよう工夫が必要だと思います。時間、動員方法など考えられると思います。

●それぞれの地区の予定も加味して計画してはいかがでしょうか。

●集まった人数が少なく、もつと町民に報告会の案内をするべきでは。

●関心を持つような会にしていただきたい。

●意見交換、交流が多くできてとてもよかったです。

●周りの方々に「報告会に行こう」と声をかけましたが「おもしろくないからな・・・」との返事でした。

●型どおりの報告会は私もおもしろいとは思いませんが、今回のように工夫されていれば内容も豊かになると思います

●11月議会だよりを議題に質疑を受けた進行はよかったです。

●また、司会者から事前に進め方について話があつてよかったです。

●意見など出やすい場づくりなど検討してほしいです。

●議会報告会ということではありますが、住民からは地域的要望が数多く出るため、行政長が責任ある職員の出席も希望したい。

●貴重なご意見をありがとうございます。

●これからの町政そして議会活性化の参考にさせていただきます。

平成26年度 各会計決算を審査・認定する

第4回定例会では、決算審査特別委員会（松壽孝雄委員長）の報告を受け討論・採決の結果、全ての会計において全会一致で認定しました。以下概要について報告します。

一般会計7480万円の黒字決算

委員会報告

一般会計については、歳入歳出実質収支額で約7480万円の黒字決算となっており、財政健全化判断比率などを見ましても良好な状態です。

しかし、全体的に財政の硬直化も懸念されることから、今後も引き続き、健全な財政運営の確保を目指すべきです。

地方財政を取り巻く環境は、国の財政政策により、一部では成長戦略の成果が見られます。

しかし、個人消費は依然として横ばい状態にあり、人口減少や少子高齢化などの社会的要因による将来不安により、引き続き大変厳しい実態にあります。

平成26年度 各会計決算

	歳入(収入)	歳出(支出)
一般会計	164億491万円	162億7118万円
国民健康保険特別会計	25億2392万円	25億1945万円
下水道事業特別会計	6億3326万円	6億3322万円
介護サービス事業特別会計	4億7316万円	4億7296万円
介護保険特別会計	9億1139万円	8億8960万円
後期高齢者医療特別会計	1億3987万円	1億3974万円
町立別海病院事業会計	20億8956万円	21億3941万円
水道事業会計	9億9662万円	7億5790万円

数字は千円以下を切り捨てしています。

このような中、地方財政計画は多面的な要因により方向修正を余儀なくされています。的確な情報の把握と、根幹を担う財源の確保に努め、第6次総合計画の着実な推進を図るとともに、町財政の健全化にいつそう努める

ことが必要です。特に、町税および税外の収入未済額、あるいは滞納繰越額に対する収納環境・処分方法については、現在の社会情勢などをみると、ますます困難になるとは否めません。このことは、円滑な

財政運営に支障をきたすとともに、公正・公平な負担を著しく欠き、町民の納付意識の低下を招くことになりかねません。今後も個々の生活状況などに配慮しながら、きめ細かな対応をとるなど、なおいつそう収納率の向上に努める必要があります。

町は経費削減意識のもと、実質収支額を黒字に収め、変化に対応可能な財政調整基金の積立に成果を上げていくことは評価されます。しかし、これまで行ってきた事業の検証や分析を行い、行政サービスの向上や少子高齢化社会への迅速な対応および危機管理能力の向上など、よりいつそうの努力が必要とす。

まちづくりにおいては、第6次総合計画を基本とし



て、進めていかなければなりません。町民と行政とが、共通理解のもと、幅広い議論を展開し、政策を決定していくことが必要です。

また、安定的・継続的に重点施策を推進する上で、既存事務事業の費用対効果の検証を行なうことが必要です。今後も、効果的・効率的な予算執行に努めるとともに、「笑顔あふれる豊かさ実感のまち」を町民と協働によりつくり上げるよう切望します。

**第4回
定例会**
12月8日～11日開催

第4回定例会は、12月8日から4日間の会期で開かれました。補正予算の内容と専決処分および条例の改正と意見書の提出内容についてお伝えします。

また、指定管理者の期間満了にと
もない指定管理者
を指定しました。
主な対象の施設
は、別海町ケアハ
ウス、西春別デ
イ



ひき続き指定管理された別海町ケアハウス

本定例会に町長より
提案された補正予算は
事業の確定などで不用
額を精査する減額補正
が主なものです。
条例は個人番号
の利用に関連する
条例の制定や一部
を改正するもので
す。

サービスセンター、別
海町高齢者生活ハウス
および別海町酪農研修
牧場です。

平成27年度 補正予算概要

	補正額	予算総額
一般会計	1億4190万円	169億9280万円
下水道特別会計	570万円	6億7930万円
水道事業会計	111万円	15億1669万円

一般会計の主な補正（歳出）

省エネ防犯灯整備事業	215万円減額
消防団拠点施設整備事業	122万円減額
生活バス購入事業	1981万円減額
本別海へき地保育園改築事業	160万円減額
森林整備地域活動支援推進事業	90万円減額
除雪機械等購入事業	412万円減額
町道維持補修事業	1280万円減額
社会資本整備道路交付金事業	101万円減額
防衛施設周辺道路整備事業	172万円減額
公営住宅等補修事業	230万円減額
公営住宅等整備事業	231万円減額
海外派遣研修事業	361万円減額
消防車購入事業	1億2793万円増額
放課後児童クラブ事業（左記）	86万円増額
中山間地域等直接支払交付金事業	86万円増額
沿岸漁業振興対策事業	3787万円増額

下水道特別会計

農業集落排水事業	117万円増額
----------	---------

水道事業会計

営業費用	108万円増額
------	---------

放課後児童クラブ事業



中春別アフタースクール

補正額86万円

子どもたちの放課後に行う活動への助成です。



大塚保男さん

任期満了にともない
教育委員会委員に大塚
保男氏を任命（再任）
することに同意しまし
た。

**別海町教育委員会
委員の任命に同意**

◆工事請負契約の一部
を変更する専決処分
について承認しまし
た

- ・根室中部3号主要幹
線改良舗装工事
- ・北光進地区農業改良
舗装工事
- ・西春別駅前スケート
リンク整備工事

以上3件の契約金額
の一部を変更するもの
です。

専決処分を承認

第4回 定例会

12月8日～11日開催

条例の制定 および改正

◆**行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例**
行政手続における特定の個人を識別する番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号）第9条第2項に基づく個人番号の利用に
関し、用語の意義、町の責務および個人番号の利用の範囲を定める
ものです。

◆**町立認定こども園設置条例**
幼稚園および認可保育園は幼稚園型・保育園型とそれぞれ移行する認定こども園の類型および施設の名称を定める他、認定こども園で行う事業や保育料および利用料を定める
ものです。

◆**町税条例の一部を改正する条例**
徴収猶予に係る町の徴収金の分割納付または分割納入の方法について定める改正です。

◆**国民健康保険税条例の一部を改正する条例**
個人番号を利用するための改正と、国保税減免要請書の提出期限を納期限前7日とする改正です。

◆**介護保険条例の一部を改正する条例**
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する法律（平成25年法律第27号）の施行により個人番号を利用するた

めの改正です。

◆**町立学校設置条例の一部を改正する条例**
本別海小学校・中学校の統廃合により名称を削除するものです。

◆**公団営農用地開発事業業負担金等徴収条例を廃止する条例の制定**
事業終了のため廃止するものです。

意見書が提出 されました

◆**TPP協定に関する合意内容と影響等について十分な情報公開と説明及び懸念される影響への対応を求める意見書**
(全会一致で可決)

提出者 西原 浩 議員
TPP協定は、大筋合意したが未だ説明が不十分であり、農林水産業は地方の基幹産業であることや食料安全保障の観点からも影響

を最小限にし、生産者・事業者が意欲と希望が持てる対策が不可欠である。

◆**安全保障関連法の廃止を求める意見書**
(賛成4名 反対11名)

提出者 瀧川 榮子 議員
「安全保障関連法」が

強行採決され治安活動や武器の使用、武力を行使する集団的自衛権など自衛隊の海外での武力行使を可能とするものだ。

憲法学者・元最高裁判所長官や判事も憲法違反であると批判しており、民意に反して強行可決されたもので廃止するよう強く求める。

◆**未婚のひとり親世帯にも寡婦(夫)控除の適用を求める意見書**
(全会一致で可決)

提出者 瀧川 榮子 議員
税法上の寡婦(夫)は法律婚をしたものに
限られ、婚姻歴のない

ひとり親家庭は寡婦(夫)控除が適用されない。国連など国際機関からも婚外子への差別的条項の削除を求められており、課税所得が高く負担が重い状況を解消するため寡婦(夫)控除の適用する法律改正を強く要望する。

◆**介護報酬の再改定を求める意見書**
(全会一致で可決)

提出者 福祉医療常任委員会
委員長 戸田 憲悦

介護報酬の大幅なマ
イナス改定は、事業継続や介護サービスを奪
いかねない。
「介護職員処遇改善加
算」は介護職員が対象
で、現場には看護師ほ
か多数の職員があり、
介護報酬自体の引き上
げが必要で、介護報酬
のマイナス改定を見直
すよう強く要請する。

第4回定例会 (12月8日～11日)

議案番号	件名
議案第86号	平成27年度別海町一般会計補正予算(第4号)
議案第87号	平成27年度別海町下水道事業特別会計補正予算(第2号)
議案第88号	平成27年度別海町水道事業会計補正予算(第2号)
議案第90号	別海町立認定こども園設置条例の制定について
議案第91号	別海町町税条例等の一部を改正する条例の制定について
議案第94号	別海町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
議案第95号	別海町公団営農用地開発事業負担金等の徴収条例を廃止する条例の制定について
議案第96号	工事請負契約の締結について(根室中部3号主要幹線改良舗装工事)
議案第97号	土地改良事業の施行について(北中西別地区)
議案第98号	土地改良事業の施行について(東富岡地区)
議案第99号	公の施設に係る指定管理者の指定について(別海町ケアハウス)
議案第100号	公の施設に係る指定管理者の指定について(西春別デイサービスセンター)
議案第101号	公の施設に係る指定管理者の指定について(別海町高齢者生活ハウス)
議案第102号	公の施設に係る指定管理者の指定について(別海町酪農研修牧場)
同意第6号	別海町教育委員会委員の任命について
報告第8号	専決処分の報告について(根室中部3号主要幹線改良舗装工事)
報告第9号	専決処分の報告について(北光進地区農道改良舗装工事)
報告第10号	専決処分の報告について(西春別駅前スケートリンク整備工事)

以上、全会一致で可決されました

討論が行われた議案の採決結果		小 椋 哲也	外 山 浩 司	大 内 省 吾	木 嶋 悦 寛	松 壽 孝 雄	森 本 一 夫	今 西 和 雄	西 原 浩	沓 澤 昌 廣	小 林 敏 之	瀧 川 榮 子	戸 田 憲 悦	中 村 忠 士	渡 邊 政 吉	佐 藤 初 雄	松 原 政 勝	採 決 結 果
議案第89号	別海町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	※	○
議案第92号	別海町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	※	○
議案第93号	別海町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	※	○
発議12号	安全保障関連の廃止を求める意見書	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	●	※	●

○原案賛成 ●原案反対 ※議長は可否同数の場合に決裁権があります

議案第89号
マイナンバーについて

反対 中村忠士議員

個人番号制の危険性は、情報漏えいを防ぐシステム構築が不可能なこと、意図的に情報を盗むこと、漏れると取り返しがつかないことなどハイリスクがある。また政府による国民監視に利用される可能性が高く、マイナンバーの具体化は賛成できない。

賛成 渡邊政吉議員

正確な所得把握や社会保障・税の公平化や大災害時の支援に活用され行政事務の効率化が見込まれる制度だ。衆参両院での可決に際し、付帯決議がなされ問題点を踏まえた準備がされていると判断する。

発議12号
安保法案について

反対 松壽孝雄議員

「平和安全法整備法」は、憲法第9条のもと許容される自衛措置として「武力行使」の3要件が法制化された。国際社会の一員としての責任を憲法の範囲内で積極的に果たすことが我が国の平和と安全につながるものだ。

賛成 中村忠士議員

国民の6割が「国会での成立に反対」とした「平和安全法整備法案」関連の11本の法定や制定を強行採決した。憲法学者や元最高裁判事などが違憲性を指摘し、「憲法の範囲を超えて政治を行ってはならない」とする「立憲主義」を破壊し、独裁政治を許すことは絶対容認できない。

議案第92号、93号も同様の内容で反対討論され、西原浩議員が賛成討論しました。

他、今西和雄議員の反対討論もありました。

町政のことが聞きたい

第4回定例会では2日目(12月9日)に7議員が一般質問をしました。各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

大内 省吾 議員……………11

- 1 周辺道路の雑木の有効活用の方後の検討は
- 2 共春バス待合所公共駐車場の計画は

森本 一夫 議員……………12

- 1 別海浄水場の改築計画は
- 2 別海町の滞在型観光計画は

中村 忠士 議員……………13

- 1 TPP(環太平洋連携協定)大筋合意と国会決議の整合性は
- 2 生涯学習センター基本構想答申は踏襲されるか

外山 浩司 議員……………14

- 1 全国学力学習状況調査の結果は
- 2 別海高校の3間口復活に向けて
- 3 コミュニティースクールの目的と計画は

木嶋 悦寛 議員……………15

- 1 放課後等デイサービス事業の新たな施設の必要性は
- 2 国際的な経済交流は
- 3 滞在型観光の推進は

小椋 哲也 議員……………16

- 1 別海町の災害対策は

瀧川 榮子 議員……………17

- 1 海岸の高潮被害と防災・減災へ対応は

詳しい議事録は町のホームページに掲載します。

別海町議会

検索

議会を傍聴された方にインタビュー

一般質問を傍聴に訪れた方にお話を伺いました。

【お話を伺った方】永野孝浩さん、鈴木ひろえさん、村山史子さん

広 報…傍聴された感想は？

永 野…別海町の特性を活かした幅広い質問がなされていて、議員も勉強しながら質問していると感じました。町民も意識を高めて、職場やサークルなどでももっと議論を深め、議会報告会などへ積極的に参加する必要があると思う。

鈴 木…前回から数多くの質問が行なわれており素晴らしいのですが、町民の傍聴も増えると議会もさらに活性化すると思います。町民の代表として行政の目線のズレをなくすような議論をして欲しいと考えています。



永野孝浩さん



鈴木ひろえさん



村山史子さん

村 山…お互いの意図を尊重しながら慎重に進めているなど感じた反面、もう少し直接的でわかり易い表現を使って欲しいと感じました。実際に傍聴してみるとさまざまな意見が湧いてきました。議論がどのように活かされるのか結論もフォローしていきたいです。

貴重なご意見をありがとうございました。

大内省吾議員



議員 大内
周辺道路の雑木の有効活用の今後の検討は

建設水道部長 立木が多量となった場合
有効活用を検討したい

質問

町は現在まで、上杉町政・佐野町政・水沼町政と、町の重点課題として町道の整備を進めてきた。長い年月の間に、道路周辺に雑木が繁茂し、今や電線を覆い尽くしている状態も見受けられる。

これを捨てるのではなく、資源利用の研究、地産地消でおが屑にし、酪農家が利用。薪にして販売、バイオ発電利用など、町民への還元を考えてはどうか。

そのことによつて雇用も生まれる。

中小企業事業者の多くは何か売り上げを上げようと、皆一生懸命努力しているが、なかなか思うよういかないのが現実ではないかと考える。

そこで伐採についても、事業者育成を兼ね、中小企業者への仕事の

一助として広く町内の希望する事業者、計画的に出すのが良いと考える。



電線に届くほど成長した立木

ら進めていくというの
はどうか。

宮越建設水道部長

現在、道路敷地内の維持管理については、町内を4地区に分け業務委託で行っているが、町道敷地内の立木は僅か、電線などに影響を及ぼしているのは、ほとんどが民有地の立木である。

しかし今後年数の経過と共に、立木が多量となった場合、そのような有効利用についても検討していく。

共春バス待合所
公共駐車場の計画は

質問

現有バス西春別線と阿寒バス釧路標津線が接続している共春バス待合所はターミナル的役割を持っている。

また、広い公共駐車場は、国道243号と272号の交点であることから、近年の豪雪吹雪の際には、開発局によつて通行車両の一時退避場所として利用されており、多い時には、100台もの車両が一時退避を強いられている。

現在その駐車場には4基ほどの照明が設置されているが、ほんのりと明るさがとれる程度の照明でとても暗い状態にある。

夜間のバス利用者や送迎者の安全確保、公共駐車場内防犯、交通事故防止を目的としてもっと明るくすべき

ではないか。

あわせて暴風雪災害時の一時避難場所として利用していることを踏まえると主要幹線道路における安全対策、防災の観点から備蓄倉庫設置など、国道と早急な協議、設置の必要があると考えるが。

共春バス待合所前の公共駐車場は、路線バスの乗り継ぎ、観光客の休憩場所など多くの方に利用されている。

また、暴風雪時に待避場所として利用されている状況にあり、町としては、避難場所として当該駐車場を指定する方向で検討を進めており、現在、北海道開発局と指定した場合

水沼町長

の運営方法について協議を行っている。

災害時用備蓄倉庫の設置については、この協議と併せ、設置者および管理の方法も含めて今後、協議をしていきたいと考える。

また、照明の整備については、公共駐車場および避難場所としての機能を考慮しつつ、改善を検討する。



釧路方面への乗換場となっている共春バス待合所

森本一夫議員



別海浄水場の改築計画は

森本議員

建設水道部長 第7次総合計画の中で
改築改修を考えて行く

質問
現在稼働中の取水施設および別海浄水場は、40年余りが経過し、劣化や耐震性に不安がある。
取水施設および別海浄水場の耐震診断はな

されたのか。

宮越建設水道部長

平成26年度に北海道開発局開発建設部が実施した「広域基盤整備計画調査」で、施設機能診断調査と合わせて行われた。

阪神・淡路大震災クラスの震度6強から7程度には、耐震性がな

質問
営農用水330万t、

簡易水道では81万tの水を利用しているが、牛が飲む営農用水など、被災時の対応は。

宮越建設水道部長

震度6強以上の地震では、町内の施設・住宅など壊滅的な状況となり、即対応できるかは難しい。

生活に支障がないよう、道路整備など順を追って対応するとともに、各農家にも営農用水の確保を協力願いたい。



災害に強い浄水場の建設が望まれる

宮越建設水道部長

釧路開発建設部に国営事業での実施を要望しているが、事業採択は非常に厳しい状況だ。

実施が難しいと判断された場合は、町が事業主体となり検討する。国の最終判断を見据えながら、実施に必要な調査検討を平成30年度を目途に進め、第7次総合計画の中で、改築改修を考えている。

別海町の滞在型観光計画は

質問

当町は、多くの特産品がある。また、さまざまな祭りがあり、別海町パイロットマンションでは、遠く沖縄県からも参加している。

しかし、平成24年度から来町者数は30万人前後と横ばいの状況で、このことについて検証し、対策は考えているのか。

佐藤産業振興部長

日本最大の砂嘴である「野付半島」や鮭・ホタテなどの豊かな水産資源と生乳生産量日本一の酪農など、地場産品を活用した「自然と食」を柱に、観光振興を図っている。

平成25年、首都圏を中心にを行ったアンケート調査で別海町の認知度は12%の結果で改めて低さを痛感した。

テレビや新聞など報道機関への情報提供や観光協会の協力を得ながら、積極的に情報発信している。野鳥観察小屋を体験型観光の一端として現在建設中だ。

質問

当町では旅行者を受け入れるための宿泊施設が不足している。

会議やイベント時に宿泊できず、他町に宿泊する状況だ。郊楽苑は宿泊定員が30余名で観光バス1台

分の人員を、全室利用しても受け入れできない。町が先陣を切って増設してはどうか。

水沼町長

本施設は平成4年度供用開始し、老朽化が著しいことから、平成24年度に、建築保全計画を作成し、修繕を進めている。

増設については、現在客室数を増す考えはないが、将来の検討はあり得る。

質問

札幌市などでは、民泊という形がとられている。どこかが拠点となつて民泊を行つてはどうか。

水沼町長

皆さんに協力してもらう事も大切だが規制もある。

念頭に入れて考えることも一つの解決策かと考える。

議員 中村
**TPP(環太平洋連携協定)
大筋合意と国会決議の整合性は**

町長 国会決議が

遵守されたとは言えない

質問

10月5日アトランタで開催されたTPP閣僚会議で、大筋合意が成ったとされている。町の対応は。

水沼町長

10月13日別海町TPP対策本部会議を開催し、状況の確認、情報収集をしっかりと行うよう指示した。国、道、各政党などの意見交換会で、地域の懸念や不安などについて、町としての意見

を言ってきた。

質問

大筋合意と国会決議との整合性は。

水沼町長

牛肉は事実上関税撤廃に近い。国会決議が遵守されたとはいえない。乳製品についても、安価な外国産の輸入増加による国産品の需要と価格の低下は避けられない。

質問

政府の概要的資料に頼ってしまうと全体像は見えてこない。政府に都合の悪い情報は隠される可能性もある。全体像をつかむため

中村忠士議員



には相当の努力が必要だ。詳細な情報をつかむためにどうするか。

水沼町長

以前からTPP交渉はあまりにも秘密交渉過ぎる。内容について情報を提供するようにと言ってきた。しかし、そういう形がとられないまま来てしまった。膨大な合意の内容があるわけだから、当然国に対し、情報の開示、提供を強く求めていく。

質問

政府のTPP関連政策大綱には、「経営マイノリティを持った農林水産漁業の経営発展に向け、投資意欲を後押しする政策を集中的に実施する」とある。

農業を「ビジネス」にし、投資をして経営を拡大する所に予算を集中すると言っている。

中小規模経営や家族農業、国民のための食料生産に努力する、そういう方向には予算が

回ってこない

なる。

水沼町長

そのような懸念は我々も持っている。多様な経営形態が安定経営できる酪農畜産でなければならぬ。下を支えているのは家族経営であり、

地方の切実な思いは国に届くのか



それが主体だという思いでいる。

質問

国会決議にも与党自身の公約にも反するものがTPPだ。離脱を内外に発信していくべきと思うが。

水沼町長

大筋合意の内容、国会での議論を注視していく。さまざまな対策を含めてしっかりと見極め、対応していく。

**生涯学習センター基本構想
答申は踏襲されるか**

質問

生涯学習センター基本構想が昨年4月に答申され、現在もまちづくり構想策定事業に繋がってきている。

生涯学習センター基本構想答申は、まちづくり構想策定にも生かされ踏襲されていくものと考えているが。

竹中総務部長

答申の内容を踏まえた中で、まちづくり構想が検討されていく。

質問

防災食育センターとはどういうものか。

竹中総務部長

災害発生時における避難者などへの食料供給や、物資集約の拠点施設として位置づける。また、平時には学校給食の調理提供を中心に、食育などに関する事業を行う。

質問

建設計画策定に町民参加が必要だ。

竹中総務部長

住民参加の方法については、必要なプロセスをふんで、状況に合わせたものを考えながら進めていく。

外山浩司議員



全国学力学習状況調査の結果は

外山議員

教育部長 広報別海で町民に公表

質問

全国学力・学習状況調査が児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などを目的に、根室管内が参加して8年が経過した。今年度の結果は。

中谷教育部長

昨年度から町全体の状況を公表している。今年度は小学校は3教科5項目中4項目が「全国平均と同程度、他の1項目が全道平均よりやや低い」。

中学校は1項目が「全国と同程度、他の4項目で全道よりやや低い」という結果である。

質問

各地域間による学校の差は生じているか。

中谷教育部長

尺度はいろいろあるが、学校ごとの公表は控えている。

質問

家庭状況調査の家庭学習の実態は。

中谷教育部長

普段の家庭で1時間以上勉強する割合は小・中学校共に全道平均を上回っている。

別海高校の3間口復活に向けて

質問

普通科3間口復活に向け教育委員会はどのような対策を取っているか。

真籠教育長

地元進学率を高めることで間口増が可能になると考える。

そのために通学費の全額補助、予備校が実施する通信教育の補助、部活動の全道大会補助、大学視察事業の補助、高校生検診補助、部活動バスの運行など。次年度に向けては、寄宿舎設置の検討を行っている。

質問

現時点での別海高校普通科の希望状況は

中谷教育部長

9月末現在、各学校から聴き取りの結果、

145名の卒業生のうち81名が希望。町外から12名の希望情報もあり93名である。



町民も楽しみにしている別海高校文化祭パレード

コミュニティスクールの目的と計画は

質問

平成26年度からコミュニティースクール制度導入に向け、先進地の視察や講演会参加などを進めているが、制度導入目的と今後の計画は。

真籠教育長

目的は、学校・家庭・

地域が一体となり、より良い教育の実現を図るため、運営に対し地域のニーズを迅速かつ的確に反映させる、地域と共にある学校づくりだ。

来年度は、一つの中学校区で導入に向けた試行を予定している。実施に際し地域に合った「学校運営協議会」のあり方などを検証しながら地域、学校と協議を進める。

真籠教育長

既存の組織を統合した中で負担にならないような「別海型のコミュニティースクール」として位置づけていく。教育委員会が主体となつて地域に入りていねいに協議しながら進めていく。

質問

現状の学校経営において、地域の理解、協



地域の協力を得ながら餅つき（中春別小学校）

議員 木嶋
放課後等デイサービス事業の
新たな施設の必要性は

福祉部長 幅広くニーズ調査を
行い検討したい

質問

健常児に児童館があるように、知的障がいや発達障がいのある児童が、楽しく遊びながら、生活能力向上のための訓練および社会との交流促進などを継続的に受ける場が必要である。

町として放課後等デイサービス事業の新たな施設設置の必要性や現行施設の拡充をどのように考えているか。

事業は、小学生以上で障がいのある児童を対象に、放課後または休業日に生活能力向上に必要な訓練および社会でのコミュニケーション能力を養うなど、療育を目的としている。

施設の10月末、児童登録数は16名で、申請された方はすべてサービスを受けている。今後の施設整備は、利用者のみならず幅広くニーズ調査を行い、児童受け入れ人数や職員の体制なども含め検討したい。

質問

発達障がいのある人が社会人として自立した生活を送るためにも就労により収入を得る

ことは大切な営みだ。

しかし、障がいの程度によっては離職や転職を繰り返すなど不安定な生活を強いられることも想定される。

発達障がいのある人の就労支援についての考えや、今後の取り組みは。

河嶋福祉部長

現状では、発達障がい者の就労支援は、就労希望者または保護者などからの相談を受け、その希望や特性に応じ、公共職業安定所または就業と生活の支援を行っている団体を紹介している。

第2期障害者計画では、発達障がい者を特定した内容を明記していないため、来年度予定している第3期障害者計画策定では、発達障がい者への理解が深まる内容としたい。

国際的な
経済交流は

質問

平成25年の第3回定例会において「国際的な経済交流の成果と今後の見通しについて」を質問した。

その後、中国との経済交流はどうなったか。

佐藤産業振興部長

ソーシャルネットワーク協同組合（別海町の外国人技能実習生受入

団体）と中国北京市の技能実習生認定送出し機関とは、平成25年7月に外国人技能実習事業に関する協定を締結し、平成26年4月から受け入れる計画だったが、希望農家との間で折合いがつかず、実現には至っていない。

水沼町長

中国の特定都市との友好都市提携の考え方は、今も変わらない。今後、情勢を判断しながら模索していきたい。

滞在型観光の
推進は

質問

根室管内の外国人宿泊数は過去最多となるなか、当町は中標津町の10分の1にも満たない数字となっている。

町長は今年度、滞在型観光のいっそうの推進を掲げたが、この数

字をどう受け止め、増加する外国人観光客取り込みをどう考えるのか。

佐藤産業振興部長

新聞報道の上期外国人宿泊数は、調査途中の数値が報道された。今後は、十分注意を払いたい。

なお、確定した外国人宿泊数は、86名となっており、管内他町と比べて少ない状況だ。

海外旅行会社を招聘した、モニターツアーの立寄り先に野付半島を組み入れてもらい、自然の豊かさを実感する取り組みも行っている。

来年2月の台湾からのツアーでは、野付半島への立寄りや別海町内への宿泊も組み込まれている。

今年度中に台湾・韓国・タイに対応したホームページも作成し、外国人観光客のさらなる増加を目指していく。

木嶋悦寛 議員



日本最大の国際見本市でも別海の乳製品は人気がある（フードクスジャパンにて）

小椋哲也議員



別海町の災害対策は

小椋議員

町長 減災の実践には
自助・共助・公助が重要だ

質問
北海道道東エリアは、世界的に見ても有数の地震多発地帯であり、1993年の釧路沖地震、1994年の北海道東方沖地震に加え、十勝沖地震、根室沖地

震など、大きな地震が数多く発生している。また、昨年から立て続けに暴風雨や暴風雪による被害が発生しており、異常気象による災害も引き続き警戒が必要な状況となっている。

当町として整備している災害発生時の行動計画やマニュアルなどにはどのようなものがあるか。

竹中総務部長

平成26年4月に更新した「別海町地域防災計画」を基本とし、地震や津波などに対する備えや、いざ災害が発生した場合の対処法などを分かりやすく記載した「べつかいの防災」を町内全戸に配布している。災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を防災の基本方針とし、た

とえ被災しても人命が失われないことを最重視している。

質問

実際に災害が発生した際、組織的な災害対策の取り組みと両輪となつて重要となるのは、住民個々にどのような準備があり、どのように行動できるかということである。

災害に備え日常から考え話し合い準備を行うため、地理的な特性や行政の計画と整合性のとれた、より具体的



防災センターなどに備蓄されている物資

な住民行動の指針を明示する必要がありと考えるが。

水沼町長

さまざまな災害の被害を減災するためには、住民個々の自助と共助が重要だと考える。

各家庭に配布してある「べつかいの防災」を活用し、自主防災組織の研修会などあらゆる機会を通じて、その内容が災害時の行動に生かされるよう啓発していく。

質問

当町の主な産業のひとつである酪農は牛とという生き物を資源としているため、いかに牛を守るのかということも考える必要がある。



酪農地帯のライフライン確保は乳牛にとってもかせない

携を強化し、危機管理対策などの協議を進めて行く必要があると考えている。

質問

各地域状況が異なるので、各農家や地域コミュニティ単位で災害発生時の対応について話し合うような機会を設けたことはあるか。

佐藤産業振興部長

それぞれの農協単位では、災害発生時の緊急的な対応マニュアルを作っているとのことだが、個々の農家を含めた話し合う場を設けているかについては把握していない。

宮越建設水道部長

飼育牛の飲用など営農用水の確保について、過去の地震の際は各農協がタンクローリーを出動させて消火栓も活用しながら応急給水した経緯がある。今後も各農協との連

ある程度流動的な側面もあることなので、完全なマニュアル化は難しいとしても、災害時に適切な対応ができるよう、関係各位の取り組みについて検討していく。

議員 瀧川

海岸の高潮被害と 防災・減災へ対応は

町長 防潮堤など早期整備に
向け検討を行う

質問

尾岱沼での議会報告会では高潮被害と防災について多くの意見が寄せられた。

平成18年の爆弾低気圧以降、異常気象の被害は多くなっている。海岸地域から、高潮被害や防災についてどのような要望があるか。

竹中総務部長

平成18年からこれまで要望書形式で19件寄せられている。漁業団体から海岸保

施は困難だ。越波や浸食などに対する緊急的・応急的対応については、大型土のうの提供や漁業者用道路の復旧対策に務めている。

質問

町単独でできない事業の場合、国や道への要望が継続して行われているが解決に至っていない。

当町の基幹産業である漁業と、住民の安全を守る海岸保全は、町の最重要課題だと考えるが、町の認識は。

水沼町長

町民の生命、財産を守るため、海岸保全は必要不可欠だ。国、道に対し「主要懸案要望」および「社会資本整備要望」において、重点事項として位置づけ、消波施設の新規設置や既存施設のかさ上げなど、早期実施を要望してきた。

質問

要望・要請を生かすため、情報共有が必要だと考える。住民への情報提供は。

竹中総務部長

要望の内容を具体的に聞き、整備を進めるため、情報提供は地域町内会。防災は自主防災組織を通じて地域にお知らせしている。

質問

今後、関係機関と協力し、いっそう強い要望をしていく。

「北海道地域防災計画」



度重なる暴風雨により崩れた突堤（野付半島）

によると北海道東部も地震が起きた場合大きな津波被害が想定され、その中には当町も入る。水産庁漁港漁場整備部からは海岸地域に特化した「漁業地域の減災計画策定マニュアル」が出された。海岸保全を含め、海岸地域に特化した減災のための取り組みが必要だと考えるが。

質問

害など受けており、減災対策は重要な課題と考えている。地域住民や関係機関と協議し、防潮堤などの早期整備に向けた検討を行う。新たな災害時情報伝達システムの構築、潮位計の更新・増設により迅速な情報収集と伝達が可能となるよう取り組みを進めていく。

水沼町長
海岸地域では高潮被害

本別海の避難所は低地にあり、大きな津波が来れば、強度が持たないのではという声も聞かれる。補強する必要はないか。

竹中総務部長

今の規模で、高さ、強度とも対応できると確認している。

悪い状況をどこまで想定すればいいか、関係部署と検討していきたい。

瀧川榮子議員



各常任委員会のうごき

第3回定例会から第4回定例会の間に行われた各常任委員会の活動について概要をお知らせします。

総務文教 常任委員会

委員長 松壽 孝雄

現地調査を行う (5施設)

旧光進小中学校では、テレワーカーと家族を含む48名(9月時点)が実証実験を行いました。教育関係施設(上西春別中学校、西春別スケートリンク、中春別中学校体育館の改築、野付半島避難施設)については、工程どおり工事が進んでいることを確認しました。

地方版総合戦略について

別海町人口ビジョンで示す将来展望を実現するための、4つの基本目標の策定は3月末までに行います。

町づくり構想の策定について

(仮称)生涯学習セン

ター、防災食育センター建設に向けて、町民参加機会を計るため、住民懇談会、アンケート調査、住民説明会、パブリックコメントなど実施し、年度内基本構想策定に向け検討しています。



児童のアイディアを給食メニューに取り入れ食育を進める

マイナンバー制度について

町民に順次通知カードが届けられています。町では出前講座を実施しており、これまで158名が参加しました。

生き抜く力向上策定プロジェクトについて

本年度は教師力の育成、学力向上、子どもの生活改善など目指し、組織的継続的に取り組みをしています。

別海高校支援について

また、食育推進など児童からのアイデアを募集し、給食メニューに取り入れていきます。今後コミュニケーションスクールの取り組みをし、地域コーディネーターによる活動を取り入れ、さらに事業を推進する予定です。

寄宿舎利用のアンケートで希望者が多いことから、建設に向けての検討会を開催します。

産業建設 常任委員会

委員長 杏澤 昌廣

委員会では11月に平系にある別海バイオガス発電株式会社を調査しました。

循環型酪農を行っていく上で大切な役割を果たしている施設だと感じました。

11月現在で原料を受け入れている農家は計画の7割程度です。運転開始当初から、

土砂の混入により、ガス発生抑制、長い敷料がスクリーナーに絡まるなどトラブルの発生に苦慮しているようです。

ガスはスラリーより固形堆肥のほうが多く発生しますが、取扱い



再生敷料の乾燥ヤード

が今後の課題です。10月下旬には再生敷料の乾燥ヤードで火災が発生。90度での乾燥殺菌を80度に切り替え、現在問題発生はありません。再生された敷料は利用組合員により活用されています。スラリー液肥は、環境改善、利用農家の負担軽減に期待がかかっていることなど聞くことができ、委員会として、今後とも調査を継続していきます。

**福祉医療
常任委員会**

委員長 戸田 憲悦

- 子ども子育て支援計画により、上西春別・野付・中西別幼稚園と別海・上西春別保育園が、平成28年4月から保育所型・幼稚園型認定こども園へ移行されます。
- 担当の福祉部と教育委員会の共通事項であることから合同調査しました。
- 各委員からは、
- 教育・保育機能が保てるか
- 制度的に問題点はなにか
- 子育て支援相談対応は誰がするか
- 地域性の把握は
- 保護者の意見は反映されるか
- 保育料はどうなるか
- 子どもの給食と費用負担は
- 職員の負担と現場の

- 混乱はないか
- 研修や正職員の定数は
- 臨時職員の処遇と人材育成は

- 幼保機能保全について十分な配慮が必要だ

など多岐にわたる質問や意見が出されました。担当からは、法的に分かれてはいるが連携し、保育士、教諭、有資格者の養成、職員の処遇など、考えていきたい。



自園方式で給食を提供する、くろみ幼稚園の新たな調理室

教育時間と保育時間については、タイムカードなど利用検討し、負担軽減を図りたい。

給食は自園方式と、

給食センター方式で対応し、保育料は保護者世帯所得に応じた国の基準を上限に、町は½で設定。地域性も配慮していくとのことです。認定子ども園制度については、平成29年度以降に移行予定のへき地保育園も含めて、継続調査していきます。

**広報・広聴
常任委員会**

委員長 木嶋 悦寛

第8回委員会では議会報告会について、ポスターやチラシの作成などを行いました。第9回から第13回委員会では、議会だより第75号の編集および校正作業を行い、11月1日に発行しました。

編集に留意した点は、読みやすさへの配慮です。

文字の飾りや影、背景のグラデーションなどやめて、文字の見やすさに配慮しました。

少しずつではありませんが、改善を重ねたいと考えます。第14・15回委員会では議会報告会のみめを行いました。

別海町議会モニターを募集します

設置目的 別海町議会では、開かれた議会、町民との情報共有と町民参加を図るため、議会報告会を行うなどの取り組みを行ってきました。

さらに町民の皆様からの要望や提言を広く取り入れるとともに、町議会のチェック機能や政策形成能力の向上を目的として、議会モニターを設置することとしました。

募集定員 8名以内

職務内容 町議会の会議を傍聴し、意見や提言をいただくことや、町議会の運営に関する調査事項に回答するなど任期は1年とします。

申し込み資格 年齢満18歳以上の町民であり、公務員、各種行政委員ではないことが条件です。

議会の仕組みに関心のある方、町政および地域の発展に関心のある方をお待ちしています。

〈連絡先〉 議会事務局 TEL(代)75-2111 (内線4111)
FAX 75-2130
E-mail:gikai@betsukai.jp

シリーズ まちの 宝物



野付竜神倶楽部
尾岱沼 下の句かるた少年団
指導者代表 ^{とみ ざき} 富崎 ^{よし かつ} 吉勝さん



かるたをとおして世代交流をめざす

尾岱沼 下の句かるた少年団は、小学生・中学生合わせて35人とその父母で構成されています。

主な活動期間は11月から3月末までで、昼に行う小学生の練習と、中学生や全道大会を目指す子ども達を中心とした夜の練習を合わせて週に14回の練習をしています。

その甲斐があつてか、釧根大会でも良い成績を取ることができるようになりました。

そして、5年前の全道大会では、別海や中標津の白銀クラブの御指導を受け、小学生の部優勝をきっかけに、親と子の意識も高まり努力した結果、全道大会に小学生の部が3回出場し優勝3回、中学生の部が3回出場し優勝2回準優勝1回という素晴らしい成績を残せました。

昨年度は別海町から文化功労賞、そして今年度は文化奨励賞という名誉ある賞を頂き、大変喜ばしい限りです。

昔に比べ習い事も増えて、かるた人口も減ってきています。

そのため今年度から小学校の郷土学習授業に取り入れてもらい、多くの子ども達に楽しいかるたを知ってもらおう活動も始まりました。

将来は、昔やっていた人達が気軽に足を運び子どもから大人まで楽しめて、親子、子から孫へと引き継いでもらえる環境をつくれたら素敵だろうと思っています。

編集後記

広報・広聴常任委員会と
なつて初めての正月が過ぎ、
おとそ気分もそこそこ1
月8日から議会だよりの編
集作業が行われました。

他の常任委員会と違って
担当部署を持たないため、
議会だよりの作成以外は役
割がまだ不明確で、まさしく
一から作り上げる委員会
と言っても過言ではありません。

広聴という少し聞きなれ
ない言葉ですが、「広く住民
の皆さんの意見を聴く」と
いう言葉の意味から考えて
も、議会にとっては広報以
上に大切な部分であること
は間違いありません。まず
は議会だよりをとおして、
住民の皆さんとしっかりと
つながり、より良いまちづく
りのお手伝いができたらと
考えます。

本年もどうぞよろしくお
願いいたします。

(木嶋悦寛委員)

うがい、手洗い、しっかり食べて、みんなで防ごうインフルエンザ